

滋賀県草津市
常盤学区

地区防災計画

大地震時初動体制編



人と地域が輝く常盤協議会



目 次

1 はじめに 25

- ・ 大地震発生の切迫性と計画策定の目的

2 防災意識を高めるために 33

- ・ ☑防災訓練・☑防災研修の継続実施（学区・町内会・個人（家庭））

3 大地震発生時の行動・活動 95

- ・ 個人（家庭）・町内会・学区・市の行動・活動
- ・ 災害時要援護者の支援

4 学区災害対策本部の体制・役割・連絡体制 155

- ・ 設置時期（震度5弱）
- ・ 設置場所（まちづくりセンター）
- ・ 組織体制と役割
- ・ 連絡体制

5 避難所の開設と運営（初動期） 235

6 防災資機材リスト（備蓄状況） 245

- ・ 16町内会・自治会・草津市防災備蓄倉庫（常盤小・新堂中）

7 大地震時協力事業所 335

8 いざという時の連絡先 355

9 おわりに 375

- ・ 計画策定後、訓練・研修を実施し、計画の見直しを継続
- ・ 市への提案など

○ 参考資料 395

- ・ 学区の特性・アンケート結果（抜粋）・琵琶湖西岸断層帯地震被害想定
- ・ 常盤学区自主防災活動事例集2021（別冊）
- ・ 防災意識に関するアンケート調査結果（別冊）

I はじめに

大地震発生の切迫性と計画策定の目的

大地震発生の切迫性

- ・大地震は突然に発生します。
- ・草津市に最も深刻な被害をもたらす
琵琶湖西岸断層帯地震や
他の地域からの応援が期待できない
南海トラフ巨大地震の発生が危惧され
ています。

地区防災計画策定の目的

- ・学区民の防災意識を高めること
- ・大地震時の初動体制を確立して
被害を最小限に止めること



2 防災意識を高めるために

⊕防災訓練・／＼防災研修の継続実施(学区・町内会)

学区や各町内会が実施する⊕防災訓練・／＼防災研修には積極的に参加しましょう!

学区

⊕学区防災訓練

- ・ 総合防災訓練
- ・ 大地震時初動対応訓練(地区防災計画検証訓練)
- ・ 広域避難所開設・運営訓練(避難所体験訓練)

＼＼学区防災研修

- ・ 自主防災組織対象研修



町内会

⊕町内会防災訓練

- ・ 安否確認訓練
- ・ 防災資機材取扱訓練
- ・ 消火訓練

＼＼町内会防災研修

- ・ 防災講座
- ・ 先進地研修



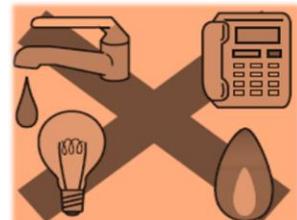
⊕学区防災訓練・✍研修実施計画

⊕学区防災訓練実施計画



訓練	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
草津市 総合防災訓練		↔			
大地震時 初動対応訓練	↔		↔		↔
避難所 開設・運営訓練		↔		↔	
区民運動会 消火リレー訓練など		→			

✍学区防災研修実施計画



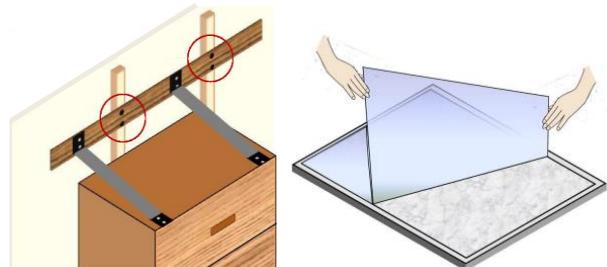
研修	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
自主防災組織 リーダー研修					
避難所体験学習 (子ども会対象)					
先進地視察研修		↔		↔	

2 防災意識を高めるために 個人・家庭で取り組む「365日の防災」

3月1日、6月1日、9月1日、12月1日は、
「防災用品点検の日」 です。

大地震は突然に発生します。そのとき、自分の命、大切な人の命を守るために、次の備えができているか定期的に確認しましょう。

- ・家具の固定
- ・ガラス飛散防止フィルムの貼付
- ・防災備蓄品のチェック
- ・大地震発生時の行動



個人・家庭で取り組む防災訓練



1 在宅避難訓練

「大地震のときはとりあえず避難所へ行けば良い。」と思いませんか？避難所の環境は決して良いとは言えません。ライフライン（電気・水道・下水道・ガス・電話）が使えなくなったりとの想定で、自宅で生活をする訓練を体験しておきましょう。

2 家具固定・ガラス飛散防止フィルム貼付訓練

家具固定・飛散防止フィルムの貼付を何となく先送りしていませんか？大切な人の命を守るために、各ご家庭で、訓練として取り組みましょう。

3 防災備蓄品買い足し訓練

防災備蓄品は、自分や家族構成に応じて備えておく必要があります。しかし、瞬時に購入することはできません。日頃の買い物のときに、意識して買い足し、買い替えましょう。

防災備蓄品の例

令和3年7～9月に実施した防災意識に関するアンケート調査結果（40ヶ所参照）によると、常盤学区は、防災用品を備蓄している家庭の割合が全国平均に比べて低いことが判りました。次ページを参考に、**最低3日分、できれば1週間分**を備蓄しておきましょう。

品名	数量	備考
1 飲料水		1人 1日3㍑
2 食料		循環備蓄
3 簡易トイレ		1人 1日5回
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

品名	数量	備考
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		

防災備蓄品の例



災害の「備え」チェックリスト



監修／内閣府政策統括官（防災担当）、内閣府男女共同参画局

非常用持ち出し袋

避難の際に持ち出すもの！

水

食品

（ご飯（アルファ米など）、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなど：最低3日分の用意!）

防災用ヘルメット・防災ずきん

衣類・下着

レインウェア

紐なしのズック靴

懐中電灯（※手動充電式が便利）

携帯ラジオ（※手動充電式が便利）

予備電池・携帯充電器

マッチ・ろうそく

救急用品

（はんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など）

使い捨てカイロ

ブランケット

軍手

洗面用具

歯ブラシ・歯磨き粉

タオル

ペン・ノート

感染症対策にも有効です!!

マスク

手指消毒用アルコール

石けん・ハンドソープ

ウェットティッシュ

体温計

一緒に持ち出そう!!

貴重品

（通帳、現金、パスポート、運転免許証、病院の診察券、マイナンバーカードなど）

子供がいる家庭の備え

ミルク（キューブタイプ）

子供用紙オムツ

抱っこひも

使い捨て哺乳瓶

お尻ふき

子供の靴

離乳食

携帯用お尻洗浄機

携帯カトラリー

ネックライト

女性の備え

生理用品

サニタリーショーツ

防犯ブザー／ホイッスル

おりものシート

中身の見えないごみ袋

高齢者がいる家庭の備え

大人用紙パンツ

入れ歯

デリケートゾーンの洗浄剤

杖

入れ歯用洗浄剤

持病の薬

補聴器

男性用吸水パッド

お薬手帳のコピー

備蓄品

お家に備えておくもの！

食料や水（最低3日分！できれば1週間分）×家族分

保存期間の長いものを多めに買っておき、消費したら補充するという習慣にしていれば、常に食料の備蓄が可能！

生活用品

例えば、ティッシュ、トイレットペーパー、ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、携帯用トイレ…など

ほかにも、家庭で必要なものは日ごろから備えておきましょう



3 大地震発生時の行動・活動

個人(家庭)、町内会・自治会の行動・活動



個人(家庭)	町内会・自治会
<ul style="list-style-type: none"> ○自分の身の安全の確保 ○家族の安否確認 ○出入口確保、火を消す ○隣近所の安否確認 ○地震時一次集合場所に集まる <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; border-radius: 10px; text-align: center;"> 倒壊など被害 あり </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; border-radius: 10px; text-align: center;"> 被害 なし </div> <div style="margin-left: 20px;">  </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○自宅に戻る ○町内会でまとまって広域避難所へ避難 <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">   </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の身の安全の確保 ○家族の安否確認 ○出入口確保、火を消す <input type="checkbox"/>災害対策本部へ <input type="checkbox"/>災害対策本部設置 <input type="checkbox"/>安否確認（組別） <input type="checkbox"/>災害時要援護者の支援 <input type="checkbox"/>被害状況の収集 <input type="checkbox"/>消火・救出・救護活動の役割分担 <p>町内会で手分けして自主防災活動を実施する。</p> <input type="checkbox"/>消火活動 <input type="checkbox"/>救出活動 <input type="checkbox"/>救護活動 <input type="checkbox"/>安否確認 <input type="checkbox"/>負傷者搬送 <input type="checkbox"/>協力事業所出動要請 <input type="checkbox"/>学区との連絡調整 <input type="checkbox"/>学区に支援要請 <input type="checkbox"/>他町へ応援 <input type="checkbox"/>広域避難所へ避難誘導 <input type="checkbox"/>3日間（72時間）は人命救助に全力を尽くす。 <div style="text-align: center;">   </div>

※時間は目安です。

(学区・市の活動)

大地震
発生

常盤学区	草津市
<ul style="list-style-type: none"> ○自分の身の安全の確保 ○家族の安否確認 ○出入口確保、火を消す 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の身の安全の確保 ○家族の安否確認 ○出入口確保、火を消す
<ul style="list-style-type: none"> △本部要員はまちづくりセンターへ参集 △学区災害対策本部設置 	<ul style="list-style-type: none"> ◇震度5弱 地震警戒2号体制 ◇震度5強 災害警戒本部設置 ◇震度6弱以上 市災害対策本部設置
<ul style="list-style-type: none"> △防災備蓄倉庫の開錠と救出資機材貸出 △各町内会の被害状況の収集 △市災害対策本部への被害状況の報告 △支援が可能な町内会に出動要請 △市災害対策本部へ支援要請 △市災害対策本部からの情報を各町内会へ伝達 	<ul style="list-style-type: none"> ◇前線基地(笠縫小) →広域避難所(常盤小)へ ◇広域避難所(常盤小)の開設準備
<ul style="list-style-type: none"> △広域避難所の運営(開設) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇広域避難所(常盤小)の開設・運営 <ul style="list-style-type: none"> ・草津市避難所運営マニュアル ・草津市避難所運営マニュアル(補完)新型コロナウイルス感染症対策編

3分

30分

3時間

3日間

大地震発生後の安否確認要領(例)

安否確認の要領（一例）は、次のとおりですが、町内会の規模等を考慮して、予め決定し、訓練等で全員に周知徹底しておきましょう。

1 地震時一次集合場所集合方式

町内会の面積が広いなど比較的規模が大きい町内会は、組（班）別に一次集合場所を決めるなど、迅速に安否確認を実施しましょう。



2 自主防災会巡回方式

自主防災会又は組（班）長などが各戸を巡回して確認する方式ですが、安全で大丈夫な場合は玄関にタオル等をぶら下げるなど比較的効率よく安否確認ができます。



3 向こう三軒両隣方式

発災直後に向こう三軒両隣で安否を確認し、その結果を自主防災会又は組長に報告する方式です。

事前に向こう三軒両隣のグループとグループ長（輪番制）を決めておきましょう。

地震時一次集合場所

Emergency assembly point

○○会館

この場所は、地震発生時に町内会の皆さんがあわいに安否や被災の状況を確認し、消火や救護活動の役割を分担するために一時的に集合する場所です。

町内会

大地震発生後の安否確認

共助

安否確認は、発災直後に大切な人の命を守るために重要な活動です。

まずは深呼吸！

- ・慌てずに、安全に、確実に実施しましょう。

余震等に注意しましょう！

- ・ヘルメット、靴、手袋等、服装を整えましょう。
- ・瓦等の落下物やブロック塀等の倒壊にくれぐれも注意しましょう。

支援を求めましょう！

- ・火災を発見したり、倒壊家屋や家具の下敷きになっている人を見つけたら、直ちに支援を求めましょう。
- ・手が空いている人がいたら、協力を求めましょう。

代理者を決めておきましょう！

- ・自主防災会のメンバーや組長（班長）班長さんなどが被災することもあります。あらかじめ、代理者を決めておきましょう。



災害時要援護者の支援

災害時要援護者とは

■ひとり暮らし、
高齢者のみ世帯(75歳以上)



約8,400人

■介護保険の
要介護1以上の人



約3,800人

■重度の障害やパニック
をおこす恐れのある人



約2,900人

■難病患者



約900人

■乳幼児(0~5歳)



約7,800人

■外国人居住者



約3,100人

■妊産婦



約2,100人

災害時要援護者支援登録制度の概要



避難支援活動のイメージ

災害時要援護者は、避難行動に時間を要するので、警戒レベル3（高齢者等避難）が発令された時点で、避難行動を開始します。避難支援者は、災害時要援護者に避難情報を伝え、一緒に避難行動を行います。



町内会の取り組み

特に、避難支援者がおられない要援護者については、町内会で避難支援者を選定したり、自主防災組織として避難支援を検討したり、地域ぐるみで助け合う体制を作りましょう。

➡ 災害時要援護者マップの作成

災害時要援護者マップとは、災害時の支援に必要な情報を表記した地図をいいます。ここでいう情報とは、災害時要援護者や支援者の家のほか、避難所、公共施設、福祉施設、医療施設、さらには民生委員などの地域の人材や避難ルートなどのことです。避難支援に役立てるため、マップづくりに取り組みましょう。

➡ 要援護者を交えた防災訓練の実施

町内会・自治会の敬老会や学区のふれあい祭りなど、これまでからある行事を通じて、要援護者を交えた防災訓練に取り組めば、本当の意味で災害に強い地域づくりが進みます。

災害時要援護者マップの作成例



地図へマークする色分けの例

★：広域避難所

赤：要援護者 青：支援者 緑：一次集合場所

黄：公共施設（診療所、まちづくりセンター等）

4 学区災害対策本部(Ⅰ)

設置時期・場所

災害対策本部の設置時期と場所

学区災害対策本部は、
【震度5弱以上】の地震発生の際に、
常盤まちづくりセンターに開設する。

常盤学区の町内会同士の助け合いにより、被害を最小限に止める。

大地震時の初動活動は、町内会を基本とし、町内会だけでは対応が困難な場合は、本部に支援を要請します。

本部は、支援が可能な町内会に対して、派遣を求めます。

派遣を求められた町内会は、要請した町内会と協力して消火活動や倒壊家屋の生き埋め者救出等の活動を行います。



4 学区災害対策本部(2)

草津市災害対策本部・町内会・避難所の関係

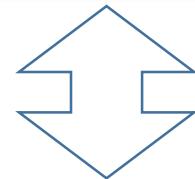
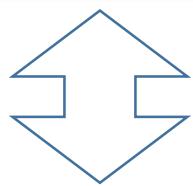
- 各町内会の被害状況等を収集し、支援が必要な町内会、支援が可能な町内会を把握する。
- 学区内の資源(ひと、モノ、情報)を上手く融通する。
(町内会・協力事業所)
- 草津市災害対策本部への情報連絡と情報収集を行い、各町内会に伝達する。また、必要に応じて市・近隣学区等の外部に対して支援を要請する。

草津市災害対策本部



常盤まちづくりセンター

常盤学区災害対策本部



町内会

町内会

町内会

避難所

避難所

避難所

常盤学区

常盤学区災害対策本部

災害対策本部の組織体制と役割

本部長(協議会会長)

統括、指揮

副本部長(協議会副会長)

本部長の代行

本部員(協議会会計・監事・理事)

各町内会の情報
収集と伝達

事務局(協議会事務局)

本部員の補助

災害対策本部の役割

- ・町内会の被害情報及び支援要請等の収集
- ・町内会への支援調整
- ・市災害対策本部への被害情報の連絡と支援要請
- ・近隣学区への支援要請
- ・市災害対策本部からの情報を各町内会へ伝達

町内会長

町内会長

町内会長

…

町内会長

【震度5弱以上】で対策本部を常盤まちづくりセンターに開設

常盤学区災害対策本部 構成員名簿 2025

No.	役職	氏名	協議会役職	備考
1	本部長	澤田 幸雄	会長	
2	副本部長	駒井 和博	副会長（職務代行）	
3	//	福本 薫	//	※
4	//	吉本 勝明	//	
5	//	粟津 豊	//	
6	//	山本 寛	//	
7	本部員	田中 茂一	会計	※
8	//	糸岡 攝雄	監事	※
9	//	木下 善広	//	※
10	//	本間 道明	理事	
11	//	中村 年夫	//	
12	//	土野池 和彦	//	※
13	//	園田 一郎	//	※
14	//	脇坂 博	//	
15	//	奥野 喜久雄	//	
16	//	田中 進	//	
17	//	辻元 孝	//	
18	//	田中 加代子	//	
19	//	松浦 芳子	//	
20	//	山本 敏雄	//	
21	//	田村 絵梨子	//	
22	事務局	三鍋 清志	事務局長	
23	//	松井 薫	事務局	
24	//	田中 陽子	//	
25	//	若林 薫	//	
26	//	後藤 千晶	//	

※：町会長兼務

4 学区災害対策本部(4)

情報連絡体制

26ch

片岡町

下寺町
津田江

下寺町

下物町

芦浦町東

芦浦町

長束町

上寺町

草津市
災害対策
本部

563-7930
563-7931
563-7932
561-2325

共通ch30ch
学区災害
対策本部
568-
1970

26ch 27c 28ch
常盤まちづくりセンター

広域
避難所
常盤小学校
568-
0002

28ch

穴村町

北大萱町

志那町吉田

志那町

志那中町

常盤団地

片岡東

ホープタウ
ン芦浦

27ch

共通ch
30ch

29ch

無線機の取り扱い (1)

呼び出し名称と使用チャンネル

区分	呼び出し名称	共通ch	グループch	備考
常盤学区 災害対策本部	ときわほんぶ		26ch、27ch 28ch、29ch	
片岡町	かたおか			
下寺町津田江	つだえ			26 ch
下寺町	しもでら			
下物町	おろしも			
芦浦町東	あしうらひがし			
芦浦町	あしうら			27 ch
長束町	なつか			
上寺町	かみでら	30 ch		
穴村町	あなむら			
北大萱町	きたおおがや			28 ch
志那町吉田	よしだ			
志那町	しな			
志那中町	しななか			
常盤団地	ときわだんち			29 ch
片岡東	かたおかひがし			
ホープタウン 芦浦	ほーぷたうん			

無線機の取り扱い（2）



基本的な手順

- ① 電源を入れる
- ② 音量を調節する
- ③ チャンネルを合わせる
- ④ 送信ボタンを押しながら話す

話し方の例

常盤学区災害対策本部 ⇄ 志那中町

自分（常盤学区災害対策本部）	相手（志那中町）
「ときわほんぶ」から「しななか」 どうぞ。	「しななか」です。 どうぞ。
「しななか」の現在の被害状況等を 報告してください。 どうぞ。	了解、〇時〇分現在、家屋倒壊による 生き埋め5人が安否不明、現在、 救出活動中。また、火災が2件発生し、 1件初期消火中、もう1件は消えました。 「しななか」で対応可能です。 どうぞ
「ときわほんぶ」了解。 以上	

無線が混信しているとき

先に指定ch（26,27,28,29,30ch）を使っている人（団体）があれば、

- ① 共通の30chに変更して、交信する。
共通chも混信しているときは、②へ進む。
- ② 他の空きchが見つかれば、ch変更する。

※ ch変更するときは、変更前のchでみんなに周知徹底しましょう！

情報連絡カード(発災直後)

発災直後は、各町内会で人命救助を最優先に活動し、町内会のみでは対応できないときに、このカードを参考に学区の災害対策本部に支援要請するものとします。

被災状況の報告（月 日 時 分現在）			町内会
	区分	被害状況	備考
被災状況	家屋倒壊・家具転倒による下敷き	〇人	
	火災発生状況	うち、延焼中 〇件 〇件	
	負傷者	〇人	
	その他		

支援の要否			町内会
	支援内容	要否	備考
支援の要否	消火活動	要・否	
	救助活動	要・否	
	救護活動	要・否	
	その他		

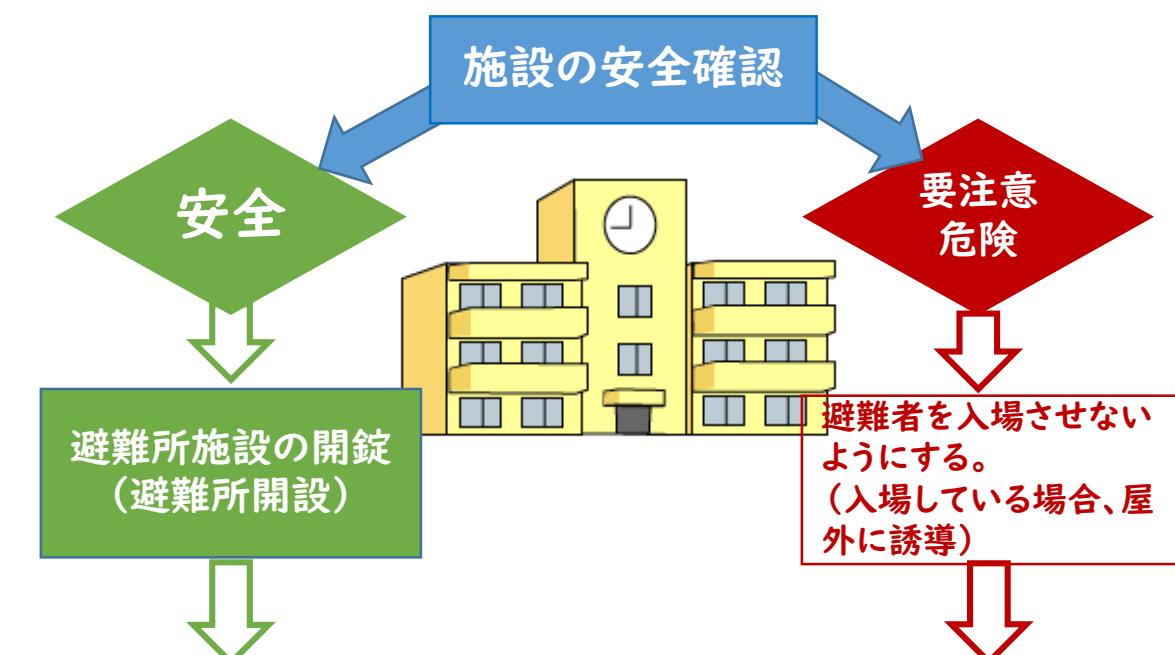
5 避難所の開設と運営

常盤学区に津波は来ません！まずは、深呼吸、そして、慌てずに、ゆっくりと行動しましょう。

初動期は、市職員、学校関係者の到着が間に合わないときがあります。（数時間をおこします。）また、避難所は早い者勝ちではありません。町内会単位で避難しましょう！

初動期に実施すべき業務

初動期とは、地震発生直後の混乱状態の中で避難所を開設・運営するためには必要な業務を行なう期間です。（草津市避難所運営マニュアル参照）



- ☒ 立入禁止スペースの指定
- ☒ 放送設備の点検
- ☒ 避難所共通ルールの掲示
- ☒ 避難者の名簿登録
- ☒ 避難者のとりまとめ
- ☒ 食品等の管理・配給
- ☒ 広報
- ☒ 災害対策本部への報告
など



6 防災資機材リスト(Ⅰ)

町内会・自治会

片岡町

町内会

記入者 町長 澤田 幸雄

令和4年2月末日現在

防災資機材	数量	備考
小型動力消防ポンプ		
軽可搬式消防ポンプ		
消火栓BOX	11	
救助工具セット	1	草津市配布
チェーンソー	2	
エンジンカッター		
バール		
ジャッキ		
スコップ	2	
大ハンマー・かけや		
リアカー		
担架		
車椅子		
携帯拡声器	1	
発電機		
投光器		
コードリール		
テント	4	
ブルーシート	5	
エアー座布団		
石油ストーブ		
毛布		
保温シート		
簡易トイレ		
トイレ用テント		
AED		

下寺町

町内会

記入者 町長 中嶋 一雄

令和4年2月末日現在

防災資機材	数量	備考
小型動力消防ポンプ	1	
軽可搬式消防ポンプ		
消火栓BOX	6	
救助工具セット	1	草津市配布
チェーンソー		
エンジンカッター		
バール	1	
ジャッキ	1	
スコップ		
大ハンマー・かけや	1	
リアカー		
担架		
車椅子		
携帯拡声器	1	
発電機	1	
投光器	3	
コードリール	1	
テント	3	
ブルーシート	4	
エアー座布団		
石油ストーブ		
毛布		
保温シート		
簡易トイレ		
トイレ用テント		
AED		

6 防災資機材リスト(2)

町内会・自治会

下寺町津田江 町内会

記入者 町会長 奥村 和久

令和4年2月末日現在

防災資機材	数量	備考
小型動力消防ポンプ		
軽可搬式消防ポンプ		
消火栓BOX	4	
救助工具セット	1	草津市配布
チェーンソー		
エンジンカッター		
バール		
ジャッキ		
スコップ	1	
大ハンマー・かけや		
リアカー		
担架		
車椅子		
携帯拡声器		
発電機		
投光器		
コードリール	1	
テント	2	
ブルーシート	2	
エアー座布団		
石油ストーブ	1	
毛布		
保温シート		
簡易トイレ		
トイレ用テント		
AED		

下物町 町内会

記入者 町会長 福谷 義孝

令和4年2月末日現在

防災資機材	数量	備考
小型動力消防ポンプ	1	
軽可搬式消防ポンプ		
消火栓BOX	16	
救助工具セット	1	草津市配布
チェーンソー	1	
エンジンカッター		
バール		
ジャッキ		
スコップ	20	
大ハンマー・かけや		
リアカー		
担架	2	
車椅子	2	
携帯拡声器		
発電機	2	
投光器		
コードリール	2	
テント	4	
ブルーシート	130	
エアー座布団	20	
石油ストーブ	8	
毛布	30	
保温シート	75	
簡易トイレ	12	100回分
トイレ用テント	4	
AED		

6 防災資機材リスト(3)

町内会・自治会

芦浦町東 町内会

記入者 町長 谷川 則義

令和4年2月末日現在

防災資機材	数量	備考
小型動力消防ポンプ		
軽可搬式消防ポンプ	1	
消火栓BOX	5	
救助工具セット	1	草津市配布
チェーンソー		
エンジンカッター		
バール		
ジャッキ		
スコップ	2	
大ハンマー・かけや		
リアカー		
担架	1	
車椅子	2	
携帯拡声器	1	
発電機		
投光器		
コードリール	2	
テント	4	
ブルーシート	5	
エアー座布団		
石油ストーブ		
毛布	10	
保温シート		
簡易トイレ		
トイレ用テント		
AED	1	

芦浦町 自治会

記入者 町長 竹内 守

令和4年2月末日現在

防災資機材	数量	備考
小型動力消防ポンプ		
軽可搬式消防ポンプ		
消火栓BOX	6	
救助工具セット	1	草津市配布
チェーンソー		
エンジンカッター		
バール		
ジャッキ		
スコップ		
大ハンマー・かけや		
リアカー		
担架		
車椅子		
携帯拡声器	1	
発電機		
投光器	3	
コードリール	2	
テント		
ブルーシート	2	
エアー座布団		
石油ストーブ		
毛布		
保温シート		
簡易トイレ		
トイレ用テント		
AED		

6 防災資機材リスト(4)

町内会・自治会

長束町 町内会

記入者 町会長 中島 和也

令和4年2月末日現在

防災資機材	数量	備考
小型動力消防ポンプ		
軽可搬式消防ポンプ		
消火栓BOX	4	
救助工具セット	1	草津市配布
チェーンソー	1	
エンジンカッター		
バール		
ジャッキ		
スコップ		
大ハンマー・かけや		
リアカー		
担架		
車椅子		
携帯拡声器		
発電機		
投光器		
コードリール		
テント	2	
ブルーシート		
エアー座布団		
石油ストーブ		
毛布		
保温シート		
簡易トイレ		
トイレ用テント		
AED		

上寺町 町内会

記入者 町会長 園田 一郎

令和4年2月末日現在

防災資機材	数量	備考
小型動力消防ポンプ	1	
軽可搬式消防ポンプ		
消火栓BOX	2	
救助工具セット	1	草津市配布
チェーンソー	1	
エンジンカッター		
バール		
ジャッキ		
スコップ	1	
大ハンマー・かけや		
リアカー		
担架		
車椅子		
携帯拡声器	1	
発電機	1	
投光器	1	
コードリール	1	
テント		
ブルーシート		
エアー座布団		
石油ストーブ		
毛布		
保温シート		
簡易トイレ		
トイレ用テント		
AED		

6 防災資機材リスト(5)

町内会・自治会

穴村町 町内会

記入者 町会長 今井 廣一

令和4年2月末日現在

防災資機材	数量	備考
小型動力消防ポンプ	1	
軽可搬式消防ポンプ		
消火栓BOX	17	
救助工具セット	1	草津市配布
チェーンソー		
エンジンカッター		
バール		
ジャッキ		
スコップ		
大ハンマー・かけや		
リアカー		
担架		
車椅子	1	
携帯拡声器	2	
発電機		
投光器		
コードリール	3	
テント	5	
ブルーシート		
エアー座布団		
石油ストーブ		
毛布		
保温シート		
簡易トイレ		
トイレ用テント		
AED		

北大萱町 町内会

記入者 町会長 岡田 保和

令和4年2月末日現在

防災資機材	数量	備考
小型動力消防ポンプ	1	
軽可搬式消防ポンプ		
消火栓BOX	10	
救助工具セット	1	草津市配布
チェーンソー	1	
エンジンカッター		
バール	2	
ジャッキ		
スコップ	2	
大ハンマー・かけや		
リアカー		
担架		
車椅子		
携帯拡声器	1	
発電機		
投光器		
コードリール		
テント	2	
ブルーシート		
エアー座布団		
石油ストーブ		
毛布		
保温シート		
簡易トイレ		
トイレ用テント		
AED		

6 防災資機材リスト(6)

町内会・自治会

志那町

町内会

記入者 町長 中島 俊治

令和4年2月末日現在

防災資機材	数量	備考
小型動力消防ポンプ		
軽可搬式消防ポンプ		
消火栓BOX		
救助工具セット	1	草津市配布
チェーンソー	2	
エンジンカッター		
バール	1	
ジャッキ	1	
スコップ		
大ハンマー・かけや	1	
リアカー	1	
担架	1	
車椅子		
携帯拡声器	1	
発電機	1	
投光器		
コードリール	1	
テント		
ブルーシート		
エアー座布団		
石油ストーブ		
毛布	1	
保温シート		
簡易トイレ		
トイレ用テント	1	
AED		

志那町吉田

町内会

記入者 町長 西中 利幸

令和4年2月末日現在

防災資機材	数量	備考
小型動力消防ポンプ	1	
軽可搬式消防ポンプ		
消火栓BOX	14	
救助工具セット	1	草津市配布
チェーンソー	1	
エンジンカッター		
バール		
ジャッキ		
スコップ	4	
大ハンマー・かけや		
リアカー（一輪車）	2	
担架		
車椅子		
携帯拡声器	1	
発電機		
投光器		
コードリール	1	
テント		
ブルーシート	1	
エアー座布団		
石油ストーブ	1	
毛布		
保温シート		
簡易トイレ		
トイレ用テント		
AED		

6 防災資機材リスト(7)

町内会・自治会

志那中町 自治会

記入者 町会長 徳田 安雄

令和4年2月末日現在

防災資機材	数量	備考
小型動力消防ポンプ	1	
軽可搬式消防ポンプ	1	
消火栓BOX	24	
救助工具セット	1	草津市配布
チェーンソー	3	
エンジンカッター		
バール	3	
ジャッキ		
スコップ	10	
大ハンマー・かけや	2	
リアカー		
担架		
車椅子		
携帯拡声器	1	
発電機	1	
投光器	1	
コードリール	4	
テント	10	
ブルーシート	10	
エアー座布団		
石油ストーブ	3	
毛布		
保温シート		
簡易トイレ		
トイレ用テント		
AED		

常盤団地 自治会

記入者 町会長 山本 久幸

令和4年2月末日現在

防災資機材	数量	備考
小型動力消防ポンプ		
軽可搬式消防ポンプ		
消火栓BOX (移動式)	1	
救助工具セット	1	草津市配布
チェーンソー	1	
エンジンカッター		
バール	1	
ジャッキ		
スコップ	10	
大ハンマー・かけや	各1	
リアカー (一輪車)	6	
担架		
車椅子		
携帯拡声器	2	
発電機		
投光器		
コードリール	1	
テント	1	
ブルーシート	5	
エアー座布団		
石油ストーブ	2	
毛布		
保温シート		
簡易トイレ		
トイレ用テント		
AED		
草刈機	2	

6 防災資機材リスト(8)

町内会・自治会

片岡東 自治会

記入者 町会長 高原 行生

令和4年2月末日現在

防災資機材	数量	備考
小型動力消防ポンプ		
軽可搬式消防ポンプ		
消火栓BOX	3	
救助工具セット	1	草津市配布
チェーンソー		
エンジンカッター		
バール	20	
ジャッキ	10	
スコップ	4	
大ハンマー・かけや		
リアカー		
担架	1	
車椅子	1	
携帯拡声器	3	
発電機	1	
投光器		
コードリール		
テント	1	
ブルーシート	3	
エアー座布団		
石油ストーブ		
毛布		
保温シート		
簡易トイレ		
トイレ用テント		
AED		

ホープタウン芦浦 町内会

記入者 町会長 篠崎 宏

令和4年2月日現在

防災資機材	数量	備考
小型動力消防ポンプ		
軽可搬式消防ポンプ		
消火栓BOX	4	
救助工具セット	1	草津市配布
チェーンソー	1	
エンジンカッター		
バール		
ジャッキ		
スコップ	2	
大ハンマー・かけや		
リアカー	3	
担架		
車椅子		
携帯拡声器		
発電機		
投光器		
コードリール		
テント		
ブルーシート	2	
エアー座布団		
石油ストーブ		
毛布		
保温シート		
簡易トイレ		
トイレ用テント		
AED		

6 防災資機材リスト

草津市防災備蓄倉庫



No.	資機材	常盤小	新堂中	備考
1	エンジンカッター	3	2	
2	チェーンソー	2	2	
3	救助工具セット	2	2	
4	担架	2	2	
5	発電機(1.6kw、3.2kw)	1 1.6kw 2 3.2kw	4 1.6kw	
6	投光器セット	4	3	
7	リヤカー	1	1	
8	毛布	100	200	
9	保温シート	400	0	
10	ポリタンク	10	10	20リットル
11	給水袋	400	400	6リットル
12	仮設トイレ(洋式)	6	6	
13	仮設トイレ(車椅子対応)	2	2	
14	仮設トイレ(小便用)	2	2	
15	オストメイトトイレ	0	0	
16	マンホールトイレユニット	0	6	
17	クイックパーテーション	1	0	
18	浄水装置	1	0	
19	バルーン水槽	1	0	2t
20	アルファ米	2,000	1,000	
21	感染症対策キット	1	1	
22	LED強力ライト	3	2	

7 大地震時協力事業所

事業所との連携

大地震時には住民同士・町内会同士だけでなく、災害時協力事業所と連携し、「住民と町内会と事業所とで助け合う」ことが不可欠です。



(順不同)

No.	事業所名	協力内容	備考
1	レーク滋賀農業協同組合常盤支店	避難スペースの提供 AEDの使用	片岡町
2	柳左官	重機（ユンボ・ダンプ）の提供	〃
3	カタオカ工業	重機の提供	〃
4	（有）石貞石材	重機（2tユニック・ミニクローラクレーン・軽トラダンプ）の提供	〃
5	片山春雄	重機（ユンボ）の提供	〃
6	（有）エル・ビー・エルコーポレーション	重機（高所作業車・チェーンソー・軽トラ）の提供 避難スペースの提供	〃
7	いとや	避難スペース（駐車場）の提供	〃
8	（有）山昇建設	重機（ユンボ・ダンプ）の提供	〃
9	（株）ナカジマ・ファーム	重機の提供 食糧の提供	下寺町
10	河邊工務店	重機の提供	下寺町津田江

No.	事業所名	協力内容	備考
11	(有) 松本ガーデン	重機（ユンボ2台（0.1m ³ ・0.06m ³ ） （ダンプ1台3t） （トラッククレーン1台4t）の提供	下物町
12	田中農産	重機（ユンボ（3t））の提供 食糧（米）の提供	〃
13	(株) 井上工業	重機（重機、ダンプ4t、軽トラ）の 提供 避難スペースの提供（今後検討）	芦浦町東
14	吉田産業（株）	重機（ユンボ・ダンプ）の提供	〃
15	(株) 吉田商業	避難スペースの提供	〃
16	中村左官	重機の提供 食糧の提供	穴村町
17	小川農園	重機（ユンボ）の提供 食糧（米）の提供	〃
18	駒井電気工事（株）	重機（移動式クレーン・高所作業車）の提供 その他（発電機）の提供	〃
19	佐山水道工業（株）	重機の提供 避難スペースの提供	〃
20	(有) 中野建設	重機の提供	志那町
21	太田製瓦店	重機（ダンプ（2t））の提供	志那中町
22	(有) いそだ設備	重機の提供	〃
23	中弥ファーム	重機（ユンボ（0.08m ³ ））の提供 食糧（米）の提供	〃
24	田舎のお米屋さん 木下範明	重機（ユンボ・ダンプ）の提供 食糧（米）の提供	〃
25	CAR WORKS MIZUNO	避難スペースの提供	〃
26	ポートヤード フロントライン	重機（リフト）の提供 避難スペースの提供 その他（人出3名）	〃

8 いざという時の連絡先 (防災機関)

No.	防災機関	所在地	電話番号	備考
1	草津市役所 危機管理課 災害対策本部	草津三丁目 13番30号	077-563-1234 077-561-2325 077-563-7930 077-563-7931 077-563-7932 077-561-2315	(代表) (ダ イヤルイン) 市役所2階 特大会議室
2	草津警察署	野村三丁目 1番11号	077-563-0110	
3	西消防署	上笠町477番 地1	077-568-0119	
4	南消防署	野路九丁目 1番46号	077-564-4951	
5	湖南広域消防局 災害管制課	栗東市小柿 三丁目1番1号	077-552-1234 077-552-8119	
6	滋賀県南部土木 事務所 河川砂防課	草津三丁目 14番75号	077-564-7211 077-567-5442	
7	関西電力送配電 (株) 滋賀支社		0800-777-3081	

8 いざという時の連絡先

(広域避難所・避難所・福祉避難所) (自主避難場所)

No.	広域避難所・避難所	所在地	電話番号	備考
1	常盤小学校	志那中町119	077-568-0002	広域避難所
2	新堂中学校	新堂町111	077-568-2990	"
3	常盤まちづくりセンター	志那中町111-1	077-568-1970	避 難 所
4	常盤こども園	志那中町278	077-568-1053	"
5	第4保育所	芦浦町310-1	077-568-0305	"
6	常盤東総合センター	芦浦町319-1	077-568-0224	"
7	芦浦教育集会所	芦浦町319-1	077-568-0224	"
8	グループホーム常輝の里	志那中町25	077-568-2406	福祉避難所 (協定締結施設)
9	デイサービスセンター常輝の里	志那中町25	077-568-2161	自主避難場所

9 おわりに

地区防災計画の策定＝防災活動のスタート

訓練の継続実施と計画の見直し



計画の策定は、防災活動のスタートであり、
今後継続して訓練や研修を実施し、検証・見
直しを行うものとします。

8 おわりに 広域避難所の追加指定

広域避難所の追加指定の提案

学区内には広域避難所が1箇所しかないため、次の公共施設を広域避難所又は避難所として指定いただくよう提案します。

追加指定を提案する施設

施設名	滋賀県立琵琶湖博物館 草津市立水生植物公園みずの森 道の駅 草津
-----	--

参考資料

常盤学区の特性



常盤学区は、日本最大の湖「琵琶湖」の南部に位置する草津市の北部にあり、全域が市街化調整区域で、人口減少と少子高齢化が進んでいます。



2021.11.30現在

町内会・自治会数	人口	世帯数	65歳以上人口と割合
16 (214)	4,833人 (137,308人)	1,825世帯 (61,472世帯)	1,560人 32.3% (30,742人 22.4%)

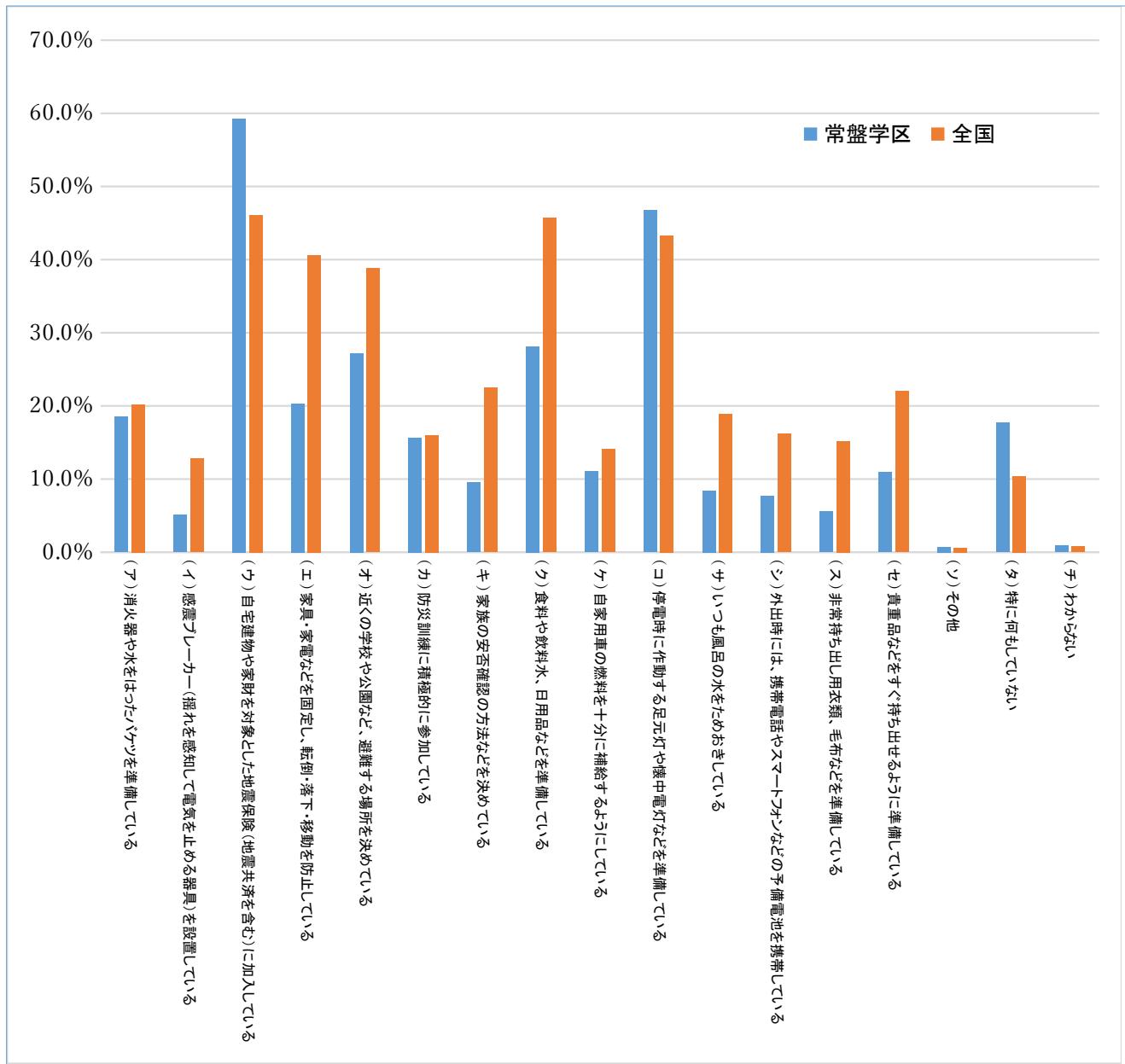
※（ ）は、草津市全体の数値

- ☒ 災害の経験がほとんどなく、自主防災活動が形骸化している。
- ☒ 人口減少と少子高齢化が進んでいる。
災害時要援護者対象者525人 登録者177人 (33.7%)
- ☒ 広域避難所が「常盤小」のみである。
- ☒ 木造家屋が大半で、かつ、液状化が心配な地域である。
- ☒ 停電時に下水マンホールポンプが停止し、トイレが使用不能になる。
- ☒ 地域のつながりがある。
- ☒ バックホウ、ダンプ等の重機保有者が多数おられる。
- ☒ 農地が多く、面積が広大で、かつ、農家も多く、食材が豊富である。

参考資料

防災意識に関するアンケート調査結果（抜粋） 令和3年7～9月実施

Q.あなたの家では、大地震が起こった場合に備えて、どのような対策をとっていますか。いくつでもあげてください。（複数回答可）



参考資料

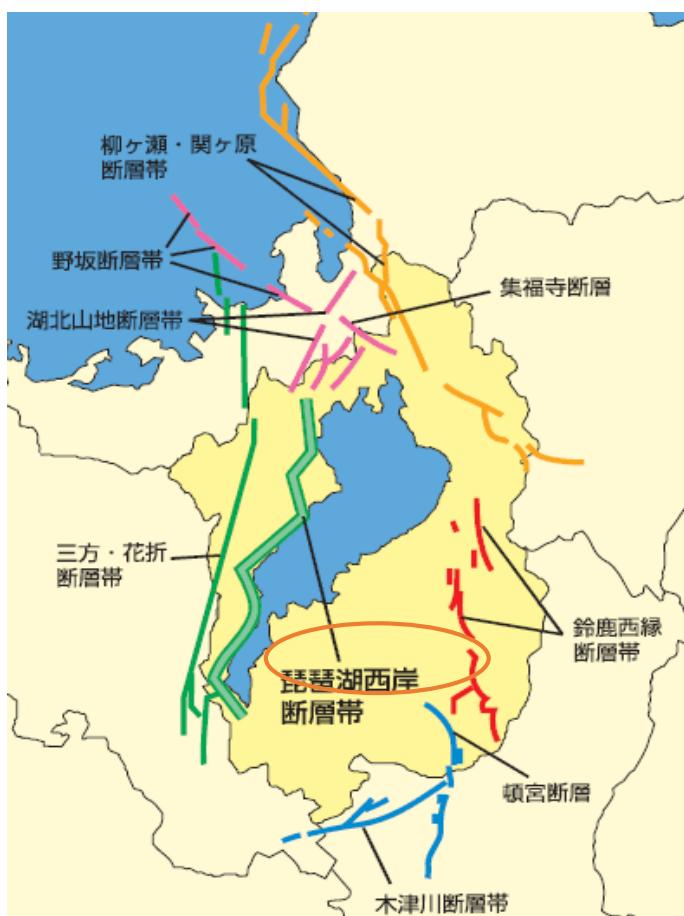
琵琶湖西岸断層帯地震

草津市防災アセスメント調査（平成27年1月）のcase2
想定（南部からの断層破壊を仮定）

地震の規模：M7.8程度

被害想定

被害	常盤学区	草津市	滋賀県
死者	17.7名	523 名	2,182 名
全壊家屋	284.3棟	9,658 棟	38,504 棟
負傷者	137.5名	4,786 名	21,039 名
避難者	1,098.9名	26,611 名	124,767 名



琵琶湖西岸断層帯は、滋賀県高島市（旧マキノ町）から大津市国分付近に至る断層帯で、概ね南北方向に延びています。本断層帯は過去の活動時期の違いから、断層帯北部と断層帯南部に区分されます。断層帯北部は、高島市に分布する断層であり、長さは約23kmで、ほぼ南北方向に延びています。断層帯南部は、高島市南方（旧高島町付近）の琵琶湖西岸付近から大津市国分付近に至る断層であり、長さは約38kmで、北北東－南南西方向に延びています。断層帯全体としての長さは約59kmであり、断層の西側が東側に対して相対的に隆起する逆断層です。

常盤学区地区防災計画策定体制2021

策定委員会

委員長 徳田 安雄
(常盤協議会
安心専門部会長)

副委員長 澤田 幸雄
(草津市防災指導員)

委員長 束 廣司
(常盤協議会会长)

委員 今井 廣一
(常盤協議会副会长)
(常盤学区自治連合会長)

委員 中村 泰之
(草津市消防団
第6分団長)

委員 福谷 義孝
(自主防災組織代表)
下物町内会自衛消防団

委員 山口 美幸
(自主防災組織代表)
志那町自主防災会

委員 中嶋 美香
(自主防災組織代表)
志那町自主防災会

自主防災部会

片岡町 木村 光良

下寺町津田江 津山 光証

下寺町 中島 正信

下物町 畑 久嗣

芦浦町 松岡喜代治

芦浦町東 谷川 則義

長束町 中島 和也

上寺町 園田 清一

穴村町 垣貫 仁

北大萱町 西村 幸昌

志那町吉田 西中 利幸

志那町 堀井 和晃

志那中町 中川真佐雄

常盤団地 山本 久幸

片岡東 江島 康之

ホープタウン芦浦 篠崎 宏

アドバイザー 大阪大学大学院

石塚 裕子

策定支援 草津市危機管理課

猪口 俊輔

事務局 人と地域が輝く常盤協議会事務局長

三鍋 清志

事務局

宮村 博

業務委託 一般財団法人 関西情報センター

坊農 豊彦

西田 佳弘

前川 良栄



人と地域が輝く常盤協議会